

支倉常長フェロー報告書

提出日 2012年 8月 3日



申請者	氏名	平野 育生
	所属・職	医化学 博士課程4年
出張期間	2012年 7月 12日 ~ 7月 17日	
渡航先	リューベック (ドイツ)	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・( )	
発表演題名あるいは共同研究課題名	ERYTHROPOIETIN PRODUCTION IN NEURAL CREST	

得られた成果など

私は支倉常長フェローを利用し、ドイツで開催された 9th Luebeck conference に参加し、上記のタイトルでポスター発表を行ってきた。

発表内容は、正常な一次造血に必須なエリスロポエチン (Epo) が、胎児のどの組織から分泌されているかを解析したもので、一部の神経細胞や神経堤細胞から Epo が産生されていることを、GFP レポーターを利用したトランスジェニックマウス解析の結果により示した。Epo は未分化な赤芽球の分化増殖を誘導するホルモンであるが、近年ではその造血外効果が注目されている。本学会においても、細胞保護、細胞の分化、鉄代謝などに対する Epo の効果についての研究内容が発表されていた。そのため、私の研究内容にたいしても、Epo の造血外効果についての質問、意見が多く寄せられていた。一部のグループは神経細胞の分化に対する Epo の効果を研究しており、今回私が示した発生期の神経系で発現している Epo が造血だけでなく、神経系の発生に関わっている可能性を示唆した。また他のグループは筋肉組織中のサテライト細胞に分化する、Epo レセプターを発現している神経堤細胞の研究をしており、今回私が示した Epo を発現する神経堤細胞との関わりを期待し、いくつかの意見をいただいた。

今後はこれらの意見なども考慮して、Epo の造血外効果にも注目しつつ解析を進めていきたいと考えている。

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。

